

世界の文字の歴史から 田和山の硯まで

世界の古代文字

楔形文字	メソポタミア	5500年前
ヒエログリフ	エジプト	5200年前
インダス文字	パキスタン	4500年前
漢字	中国	3500年前



A. Hori 2015

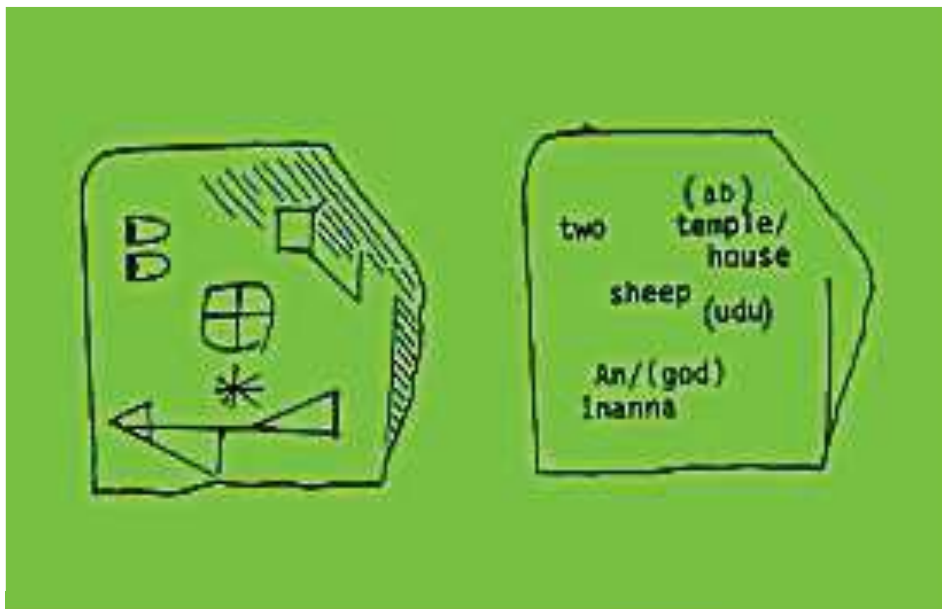
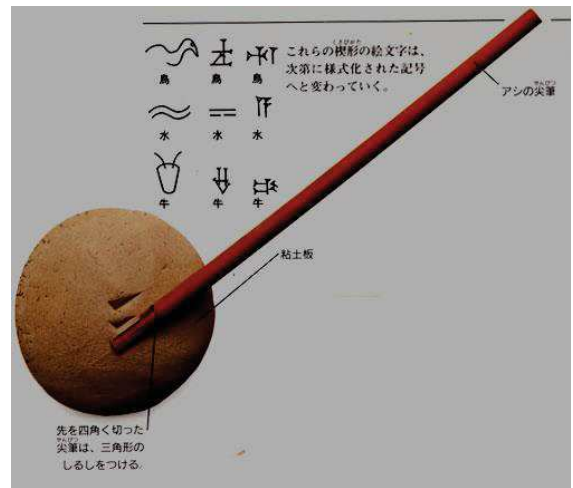
世界最古の文字 楔形文字は メソポタミアのウルクで生み出された



神殿の官僚が財
物記録のため
に文字を発
明、工夫した。

交易に使われていた陶片(トークン)の文様を粘土板にへらで刻むと楔形文字になる！

陶片	古拙文字	楔形文字	
			UDU (羊)
			AB2 (牝牛)
			36.000



ウルク期5100年前の文書
豊穡の女神(An) イナンナ(Inanna)
の神殿(ab)に羊(udu)二頭が奉納された。

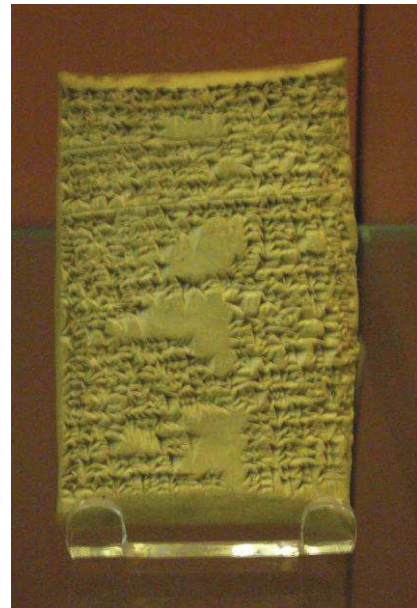


5100年前の文書(神殿の財物管理票)

ウルク期粘土板 大英博物館

**文学(世界最古の物語:ギルガメ
シュ王の冒険)、天文学、神話、数
学も記録された。**

**過去の記録を読めることが、知識を
飛躍的に増やしたのである。**



シュメール語とアッカド語の辞書 前1500年頃のガラス製法秘伝書大英博物館



ニネヴェ遺跡出土のアッカド語版ギルガメシュ物語

**聖書の洪水伝説を含む世界最古の長編小説
大英博物館**

メソポタミアで発明されたシュメール人の楔形文字は、やがてアッカド語やウガリト語、ヒッタイト語、ペルシャ語にも使われるようになった。



古代ペルシア語

エラム語

バビロニア語

ペルセポリス碑文

アレクサンダー大王の東方侵略、ヘレニズム化の中で、簡便なアルファベットによるアラム語、ギリシア語が盛んになり、紀元前後ころ楔形文字は使われなくなった。

エジプトの文字

- エジプトはナイルの賜物(ヘロドトス)
- 狭い河谷平野でメソポタミアの影響のもと、急速に都市化、統一王朝が形成された。



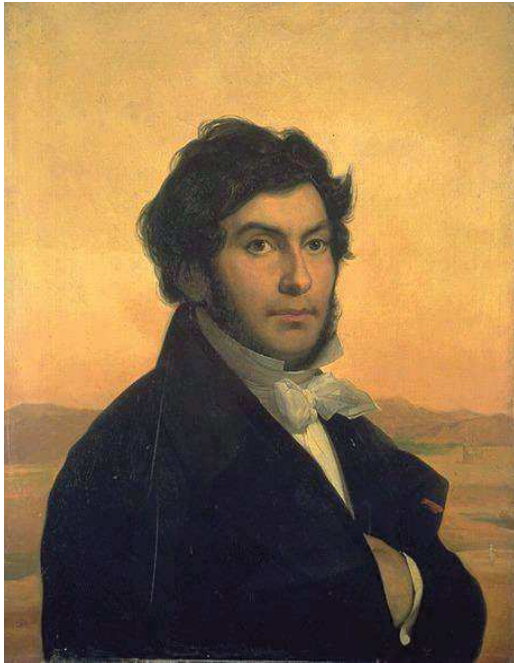
最初の統一王ナルメル:5100年前



エジプト最古の王ナルメルのパレット 古代オリエント博物館レプリカ



ヒエログリフの解読：シャンポリオン







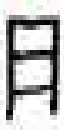
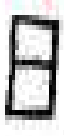














ロゼッタ出土
2200年前 大英博物館



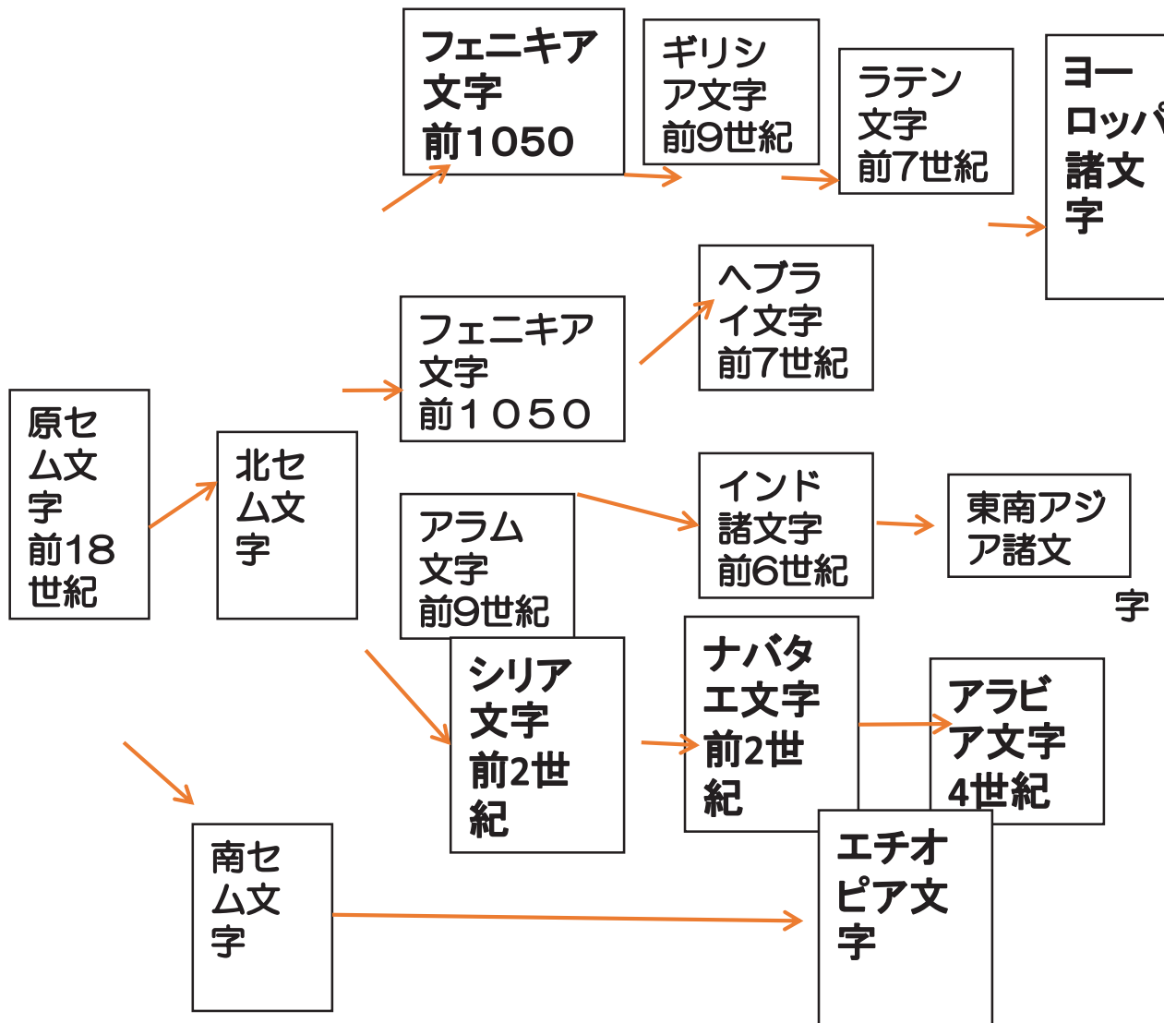
エジプトの文字は王を称えるために生まれた。

- やがてヒエログリフだけでなく、神官文字や
- 民衆文字など簡便な文字も出現。
- 周辺の民族も自分たちの記録に使い
- 始めた
- その代表がシナイ文字

	シナイ文字 BC1500年	カナン文字 BC1000年	フェニキア BC750年	古代ギリシャ	現代
牛頭					A
垣根					H
水					M
人頭					R
弓					S

○ 古代エジプトの文字もアレクサンダー大王の東方侵略、ヘレニズムの波の中で消えていった。

○ シナイ文字起源のアルファベットを使うギリシア語やアラム語が一般化する。



漢字の世界

- ➔ 漢字は3500年前、商王朝の安陽（殷墟）で、占いのために発明された：甲骨文





假借		轉注		形声		会意		指事		象形		篆書	隸書	楷書
長	令	老	考	年	河	安	武	本	下	人	月			
												秦代 刻石	秦代 隸書	前漢 隸書
長	令	老	考	年	河	安	武	本	下	人	月	說文篆文	漢碑 隸書	六朝 寫經碑誌
長	令	老	考	年	河	安	武	本	下	人	月	北魏 碑誌	隋唐 碑誌	

筆と硯の歴史



1) 殷墟の甲骨にも墨書や朱書の跡が見られる。

2) 長沙筆 戦国時代 (ウサギの毛)



3) 秦代墓出土硯、磨石、粒墨と木簡



4) 前漢南越王墓の硯 (前129年)



『漢書』地理志

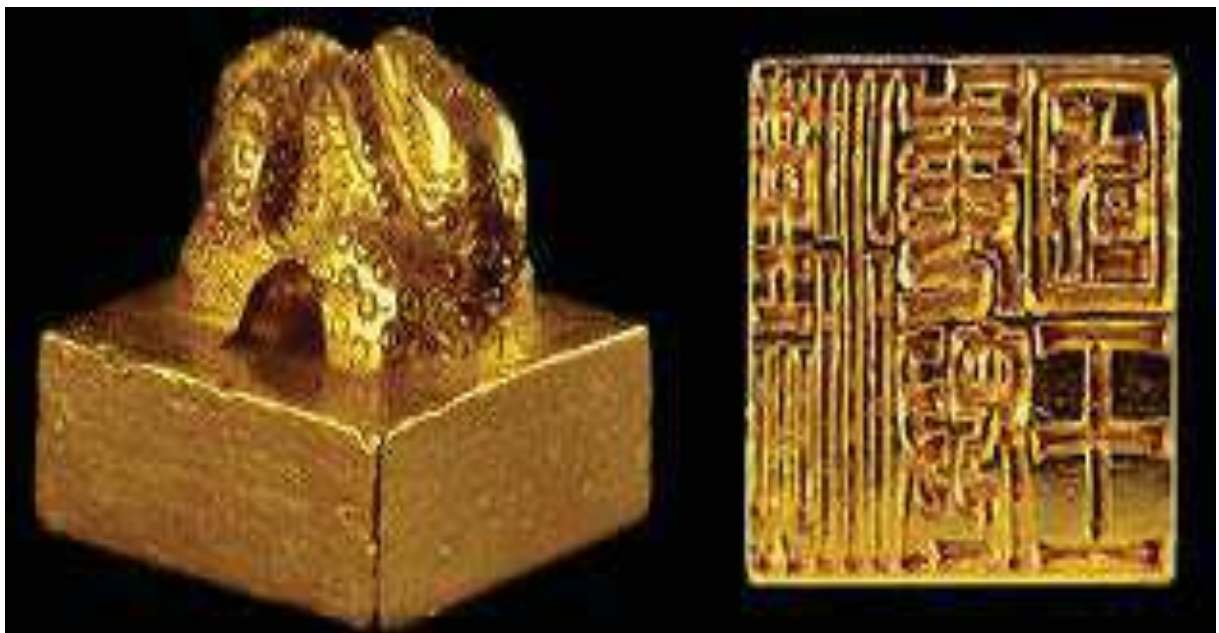
「然東夷天性柔順、異於三方之外、故孔子悼道不行、設浮於海、欲居九夷、有以也夫。樂浪海中有倭人 分爲百餘國 以歲時來獻見云」

『後漢書 東夷傳』

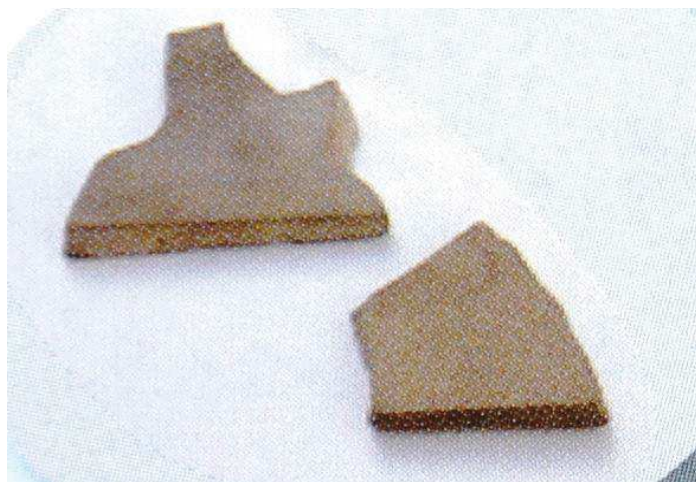
「建武中元二年(西曆57年)倭奴國奉貢朝賀 使人自稱大夫 倭國之極南界也 光武賜以印綬」

後漢の光武帝が57年に倭奴国王に授与した
金印

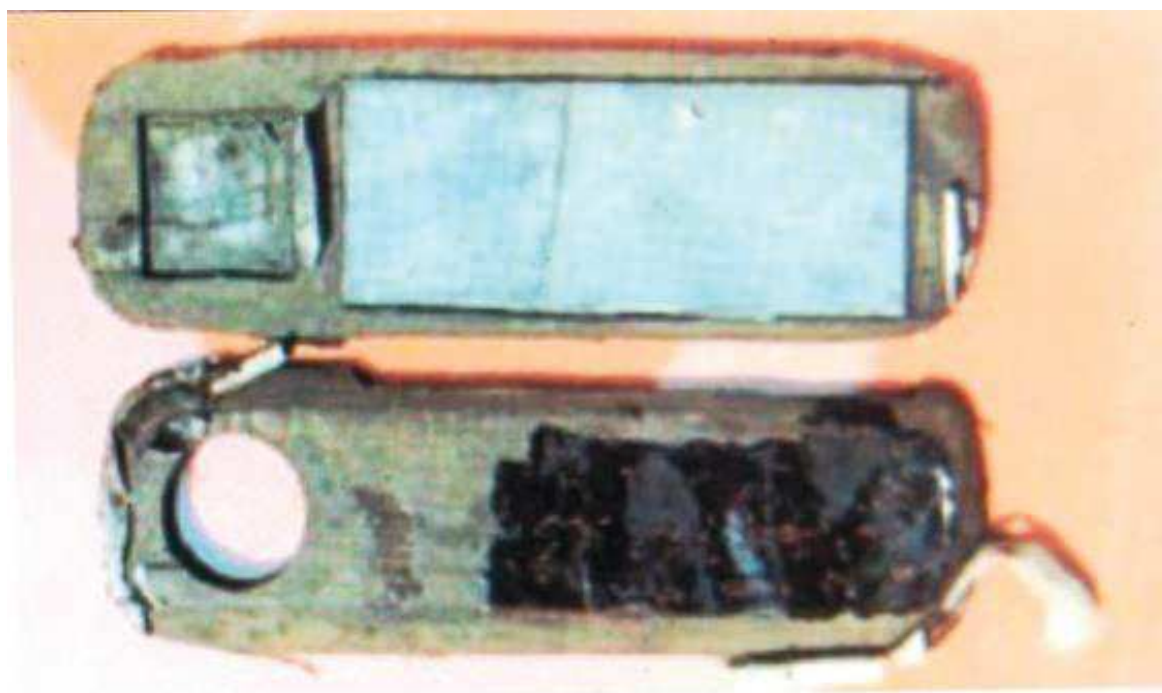
田和山石硯発見までは日本最古の書道資料



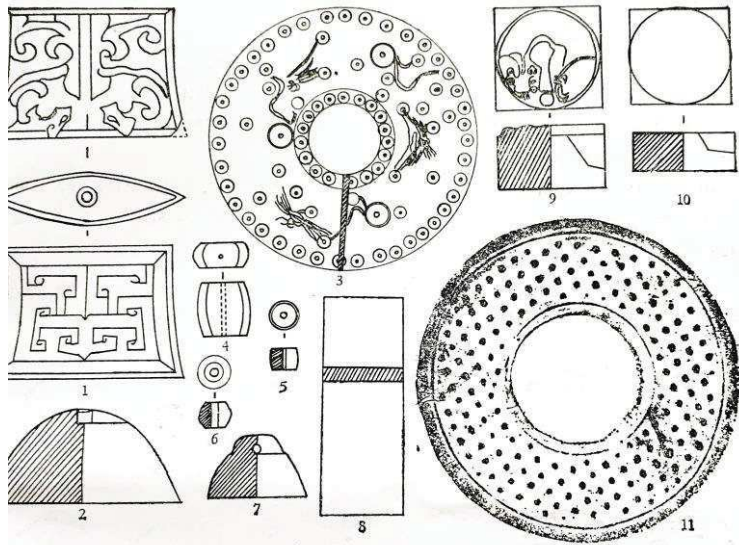
田和山出土例のような方形石硯は 前漢中期(武帝期)に出現



田和山出土石硯断片



江蘇省東海県前漢墓出土漆箱入硯



5. 石硯具 (1 M15:14)

图三七 出土遺物

1. 玉釧 (M10:2) 2. II 式鉛板 (M160:16) 3. 鉛壁 (M502:28) 4—6. 琉璃珠 (M128:29, M479:10, M34:2)
 7. I 式鉛板 (M251:9) 8. 石研板 (M427:46) 9. 研石 (M66:7) 10. 研石 (M427:63) 11. 琉璃壁拓本 (M364:1)
 (2, 7, 8, 9, 10 为 7/20, 余为 7/10)

➤ 前漢時代の硯の出土例

➤ 秦様式の円形石硯

- 陝西省句陽県鳳凰山8号墓
- 陝西省西安市土門村
- 上海市青浦県20号墓
- 広東省広州南越王墓
- 山東省金雀山出土
- 河北省石家莊柳辛村出土

➤ (漆箱入り) 長方形石硯

- 湖南省長沙市望城坡
- 山東省臨斤市金雀山
- 江蘇省連雲港市
- 江蘇省東海県前漢簿出土
- 江蘇省耶江県桃花村出土
- 松江市田和山遺跡出土

最近福岡の三雲・平原遺跡で弥生時代後期の石硯の破片が出土したニュースが大々的に流れた。

そこでは日本最古級という表現が使われたが、田和山資料が数百年古いからである。

また本年7月には筑前町中原遺跡から1世紀ころの石硯の発見が報ぜられた。

田和山の石硯が日本最古の書道資料であることは揺るがない！

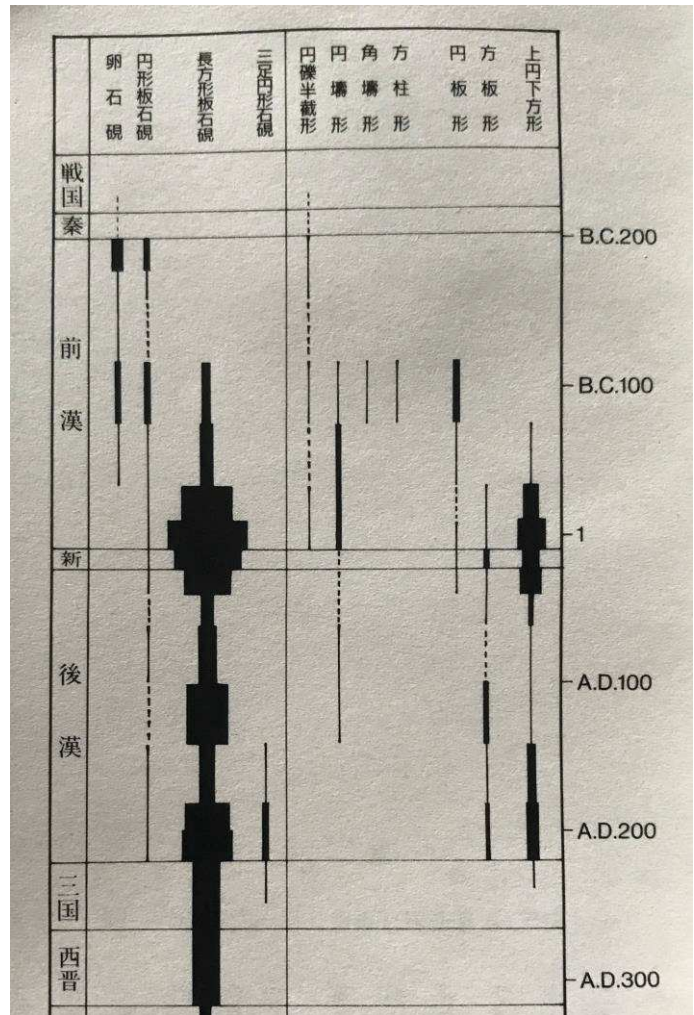
古代文字資料

前2世紀末	弥生中期	田和山石硯・研石
1世紀	弥生後期	貸泉 倭奴国王金印 筑前町中原遺跡石硯
2世紀		三雲遺跡石硯 2点 津市刻書土器 東大寺山古墳在銘鉄剣 (中平・年5月)
3世紀		卑弥呼(親魏倭王印) 福岡三雲遺跡刻書土器
4世紀 甲	古墳時代	熊本柳川遺跡(田)墨書短 三重嬉野(田)墨書土器 石上神宮七支刀銘文 (泰和・四年…百鍊・七支刀…369年)

吉田恵二氏の研究
 (1993)によれば
 長方形板石硯は前漢
 中期、武帝時代に出
 現するという。

田和山の硯は第一号
 壕Ⅰa層という最も
 古い地層から出土し
 ている。

したがって田和山遺
 跡の年代の上限は紀
 元前二世紀後半とな
 る(C14年代では
 建材が前200-195
 年、土器炭化物が前
 230-90年)。



吉田恵二 「長方形板石硯考」
 表2 1993 『論苑考古学』

結論：

田和山遺跡出土の硯は前漢時代中期のもので、中国本土にも例が少ない貴重な遺物。

もちろんわが国では最古の書道資料であり、日本文化史上の大発見である。

田和山最大の宝として、知ってもらう啓蒙活動、文化財指定が必要である。